

白神通信

ニホンジカの生息状況調査

センサーカメラの設置が完了しました。

近年、白神山地周辺地域でニホンジカ目撃情報が相次いでいます。ニホンジカは大量発生すると森林の植生や生態系、農作物に大きな被害をもたらします。

そのため、昨年度から当センターでは、白神山地周辺地域にセンサーカメラを設置し、ニホンジカの生息状況を把握することに努めています。

今年度は5月中旬からセンサーカメラの設置を開始し、7月9日に全て設置を完了しました。

現在のところ、回収した撮影データにはニホンジカの姿は映っていませんでした。しかし、6月に藤里町内の民有地でも目撃情報があったことから、地域の皆様におかれましても、ニホンジカの生息状況について、より一層の関心を持って頂ければと思います。

撮影された動物 (写真はトリミングをしています。)



センサーカメラ設置の様子



ニホンカモシカ



ツキノワグマ

昨年度に東北森林管理局管内で目撃されたニホンジカ情報を東北森林管理局HPで公開しています。ご覧になりたい方は下記のURLをご利用ください。

(参考)東北森林管理局HP「ニホンジカ影響調査・簡易チェックシート調査」平成26年度調査結果について
http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/press/kanri/270422_h26sika.html

★詳しいことをご存知になりたい方は、藤里森林生態系保全センターへお問い合わせください。

白神山地世界遺産地域巡視員会議の開催

5月29日に今年度第1回目の白神山地世界遺産地域巡視員会議（秋田県）が八峰町ファガスで開催されました。会議には秋田県側巡視員や関係市町担当者など43名が出席しました。今回の会議では新たに3名の方に巡視員を委嘱しました。会議は（1）平成27年度の主な事業計画について、（2）巡視員の活動について、（3）入山マナー向上・違反行為の防止について、（4）合同パトロールの実施について、（5）ニホンジカ等の情報収集について、（6）白神山地でナラ枯れ被害が発生した場合の考え方（案）について意見交換を行いました。巡視員の方々から得られた貴重な意見を今後の巡視活動に反映していきます。



白神森林講座

今年度、第1回と第2回の白神森林講座が無事終了しましたので、その様子を報告します。

6/13 第1回

「芽吹きの子曲！ ニツ森&留山」

午前中はニツ森を散策しました。悪天候のため頂上までは行くことはできませんでしたが、雨で霏のかかった林内はとても幻想的でした。午後の留山ではアカショウビンが2羽も姿を現してくれました。



藤里幼稚園 岳岱探険

6月4日、5日に藤里幼稚園の年長組19名が岳岱探険を行いました。4日は世界遺産センター藤里館で事前学習を行い、世界遺産に生息している動植物等について学びました。5日は岳岱自然観察教育林で、はっぱビンゴを行いながら教育林の中を探険しました。白神山地のブナ林に少しでも関心を持って頂ければと思います。



藤里中学校 職場体験

7月16日に藤里中学校の生徒4名が職場体験を行いました。当センターの概要を聞いた後、岳岱自然観察教育林の歩道整備やニホンジカ調査用センサーカメラのデータ回収といった業務を体験しました。

今回の職業体験が、生徒達にとって有意義なものになること、また地域への業務内容の理解が広まる機会になることを期待します。



7/18 第2回

「夏の思い出作り！ 岳岱と田苗代湿原」

ニッコウキスゲのシーズンは終わっていましたが、咲き残っていた花もありました。また、サワランやトキソウなどの草花を見ることができました。

